

インターネットを安全に使うため、知っておきたいこと



インターネットには、様々な特性やサービスがあります。自分や周囲の人を守るために知っておきましょう。

①世界中に公開されます

インターネットへ載せた文章や写真は世界中に公開されます。「親しい友だちだけだから…」と 思っている、誰かが転送すれば世界中に公開されてしまいます。

②一度載せると取り消すことはできません

インターネット上に一度載せた文章や写真は取り消すことができないことが多く、必ずどこかに記録が残ります。名前を書かない場合でも、将来の自分にとって、マイナスになってしまうこともあります。

③情報をそのまま信用してはいけません

インターネット上には誰でも情報を載せることができるので、信用できない情報も多く、情報を取得するときには正しい内容かどうかを確かめる必要があります。

④相手のことを考えながら通信しましょう

インターネットでのやりとりは文字が中心になるため、思いが相手に伝わりにくく、誤解が生じたり、相手を傷つけてしまったりする場合があります。また、相手にも事情があり、すぐに返信できないこともあるということを知って、理解しておきましょう。

⑤夢中になってやめられなくなるサービスがあります

インターネットのサービスの中には、楽しく、夢中になるサービスがたくさんあります。使い始めるとなかなかやめられなくなり、依存になる可能性もありますので、使う時間を決めましょう。

考えてみよう①

「悪ふざけ」のつもりが…

飲食店などのアルバイト店員が、工作中的の不適切行為を撮影した動画をSNSに投稿し、騒動になるケースが相次ぎました。

ある事例

ゴミ箱に捨てた魚をまな板にのせる動画をSNSに投稿

- ⇒ 友人に注意されて数時間後に削除したが、別の友人が動画を保存しており、1ヶ月後に再投稿したことから拡散された
- ⇒ 投稿発覚後、店や運営会社には、1,350件もの苦情が寄せられた
- ⇒ その後、警察はこのアルバイト店員を偽計業務妨害容疑で書類送検した



考えてみよう

このような店員の不適切行為の投稿がSNSで拡散され、そのことにより店の信頼が損なわれ、その結果として店が閉店や長期休業になる事態となりました。中には会社自体が破産してしまった例もあるほど、大きな問題となっています。また、投稿した本人に対し、店側から3,000万円を超える損害賠償が請求された例もあります。

「いたずら心」「悪ふざけ」など、軽い気持ちで投稿してしまったものが、会社を破産に追い込み、会社の関係者やその家族に多大な迷惑をかけ、さらに自分や家族の人生も狂わせてしまう結果になることがあります。（投稿者本人の名前、住所、写真だけでなく、家族の勤務先なども特定され、それらがインターネット上でさらされることにより、仕事ができなくなる、引っ越しをしなければならなくなるなど）

そして、インターネット上の情報はいつまでも残り続けます。その情報が今後、就職活動や結婚など、自分にとって大事な場面で、評価される材料となってしまうこともあります。

投稿するときは、「本当に必要なものか」「誰かを傷つけたり、迷惑をかけたりするものではないか」を十分に考える習慣をつけましょう。

SNSを利用して写真や動画を投稿する場合に、注意すべきことを考えてみましょう。